

民間エンジン事業・防衛事業



2026年6月2日

株式会社 **IHI**

副社長執行役員 航空・宇宙・防衛事業領域長
佐藤篤

● 民間エンジン事業

- ✓ 第1世代エンジン[※]が収益を下支えしつつ、第2世代エンジン[※]の需要の大幅な拡大を見込む
- ✓ 部品生産 / MRO能力を増強することで、成長を加速させる
- ✓ 加えて、次期単通路機を見据えた技術開発を進め、将来に向け事業基盤をより強固にしていく

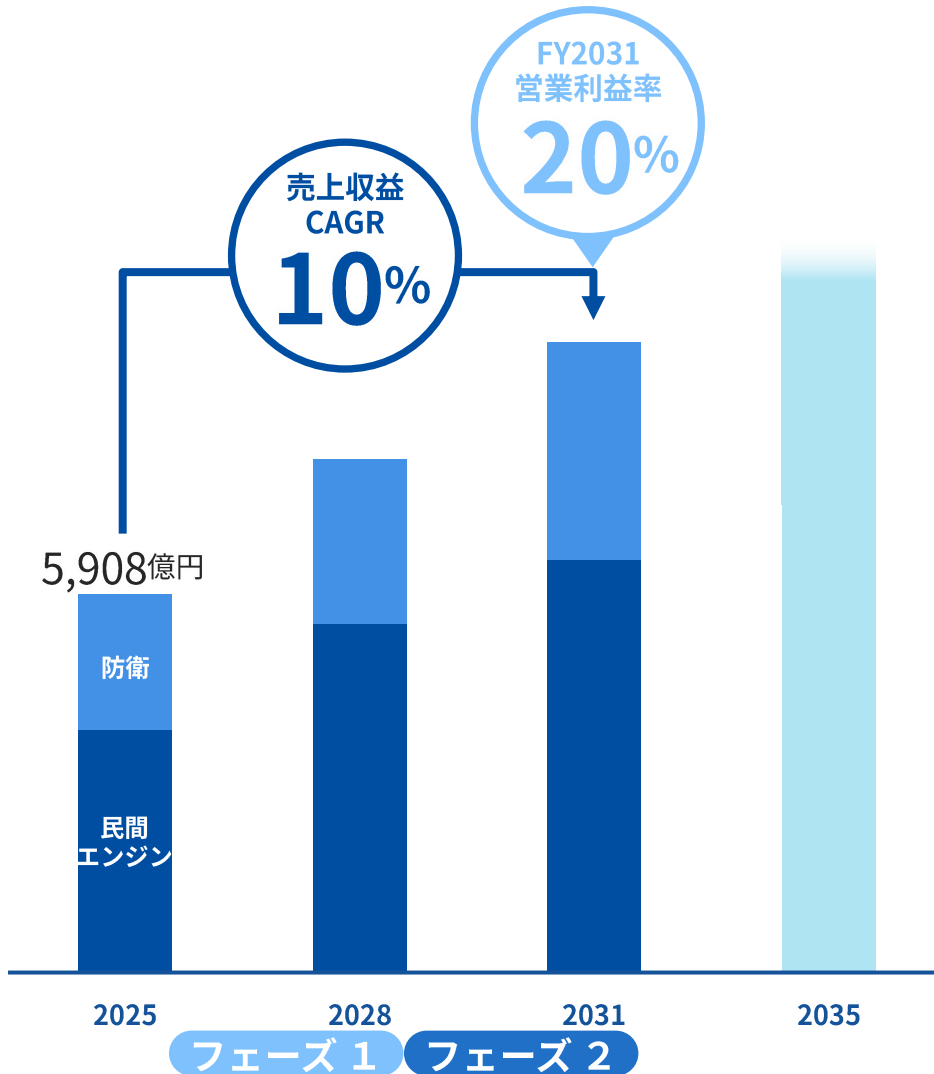
※ 第1世代エンジン：V2500/GE90/CF34
第2世代エンジン：GEnx/PW1100G-JM/Passport20/GE9X

● 防衛事業

- ✓ 国内外の需要が高まる固体ロケットモータ事業の拡大を目指す
- ✓ デュアルユースや安全保障での活用が期待される無人機の一つとしてUUV[※]事業の拡充も加速
- ✓ 航空エンジンは、既存事業の拡大に加え、グローバル展開を推進

フェーズ2完了時までCAGR10%の成長を見込む

売上収益



民間エンジン

- ✓ 第2世代エンジンの収益拡大
- ✓ 旺盛なエンジン整備需要の取り込み
- ✓ 部品修理の規模拡大による収益性向上

防衛

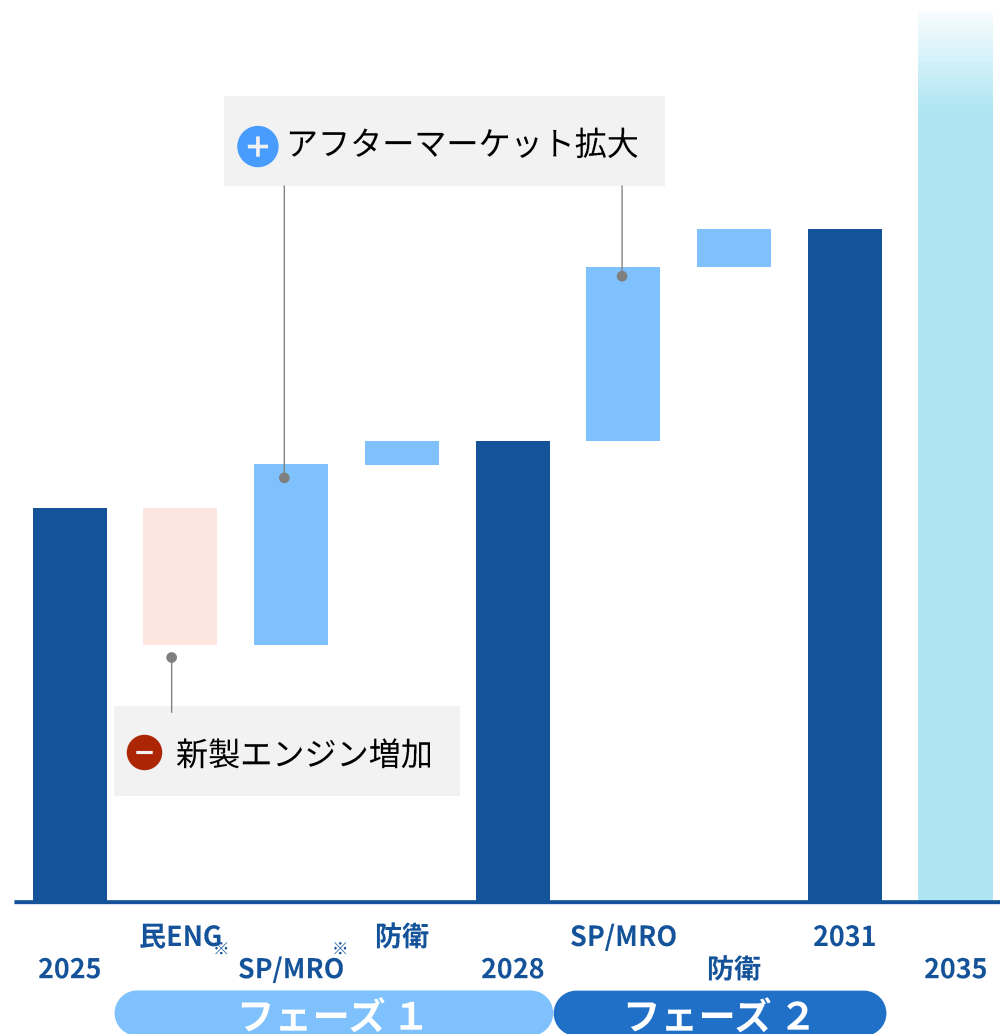
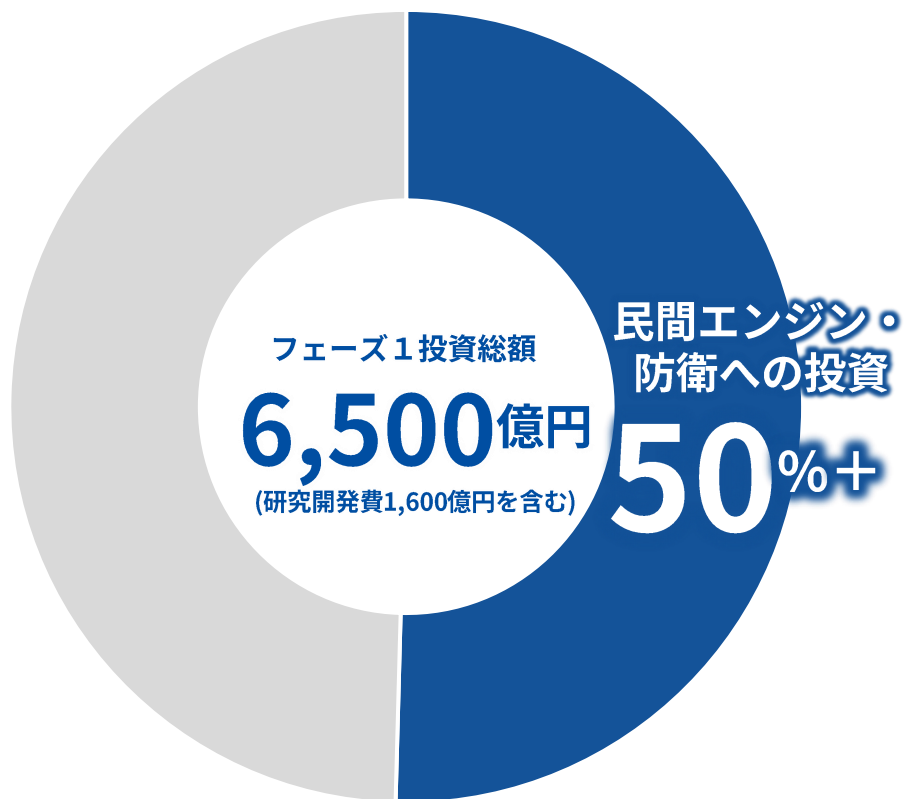
(売上収益見通し前提：防衛費GDP比2%水準)

- ✓ ミサイル需要拡大への対応
- ✓ 無人機事業への取り組み
- ✓ 装備移転事業の成長加速

売上は堅調、新製エンジン増による下押し影響ありつつ、営業利益も順調に伸長

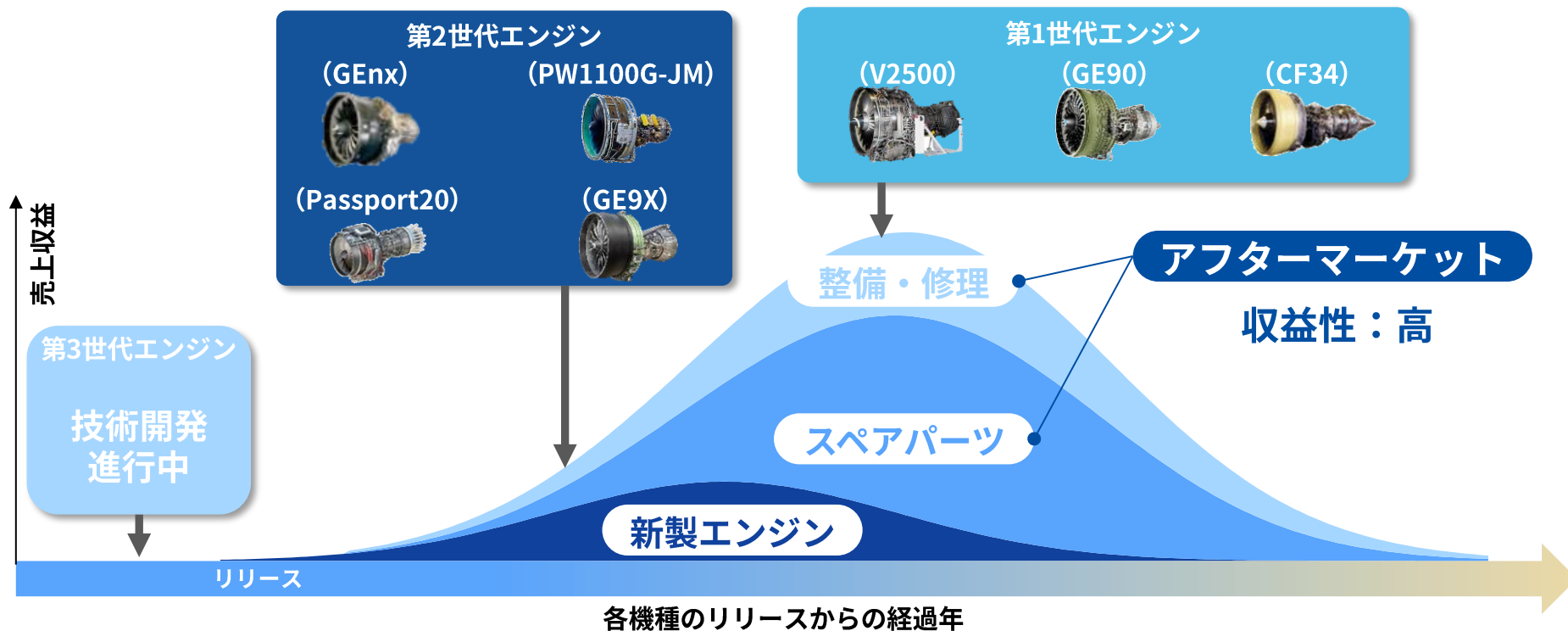
フェーズ1 投資総額 (FY2026-FY2028)

営業利益



第1世代の収益に第2世代の収益が積み重なり、事業規模のさらなる拡大を見込む

民間エンジン事業における収益イメージ



第2世代エンジン

FY2025時点
累積販売台数

約**0.9**万台



FY2035時点
累積販売台数

約**2.6**万台

第1世代エンジン

FY2025時点
累積販売台数

約**1.7**万台

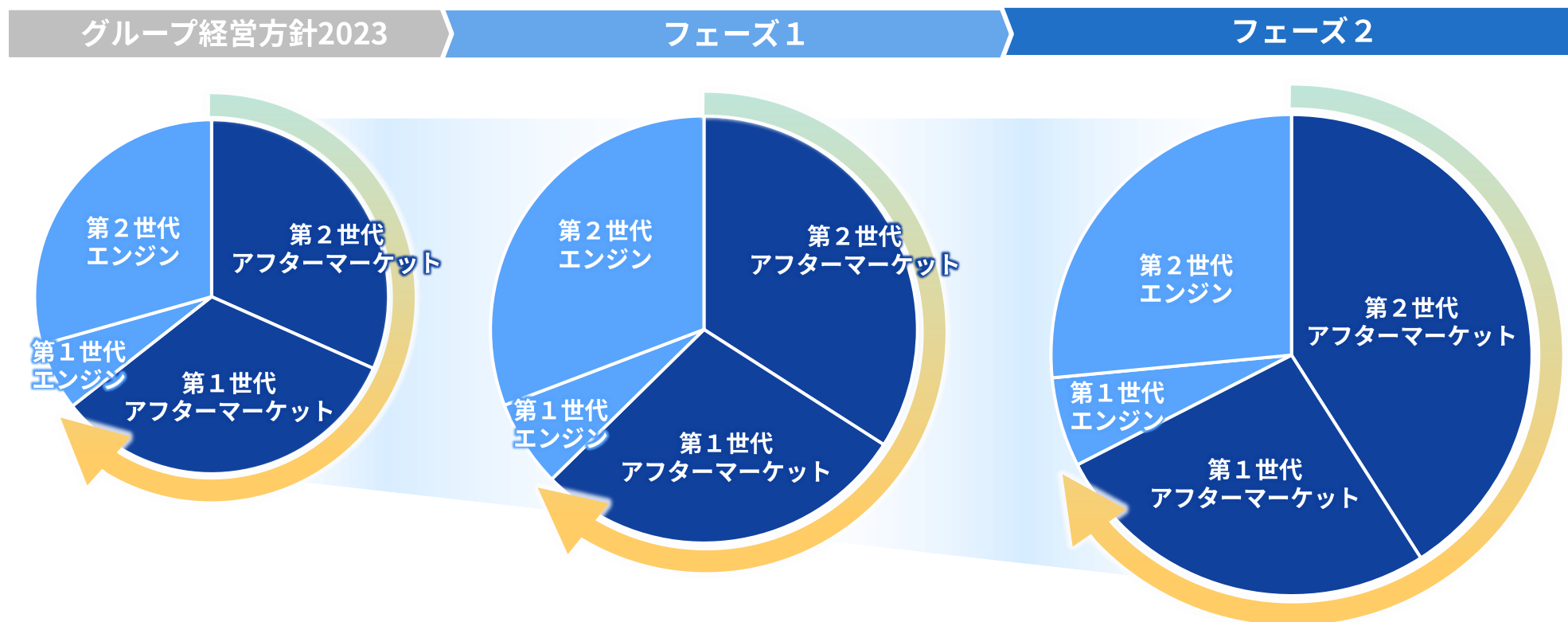


FY2035時点
累積販売台数

約**2.0**万台

第2世代エンジンを中心にアフターマーケットが拡大、収益性が向上

民間エンジン事業における収益構成イメージ

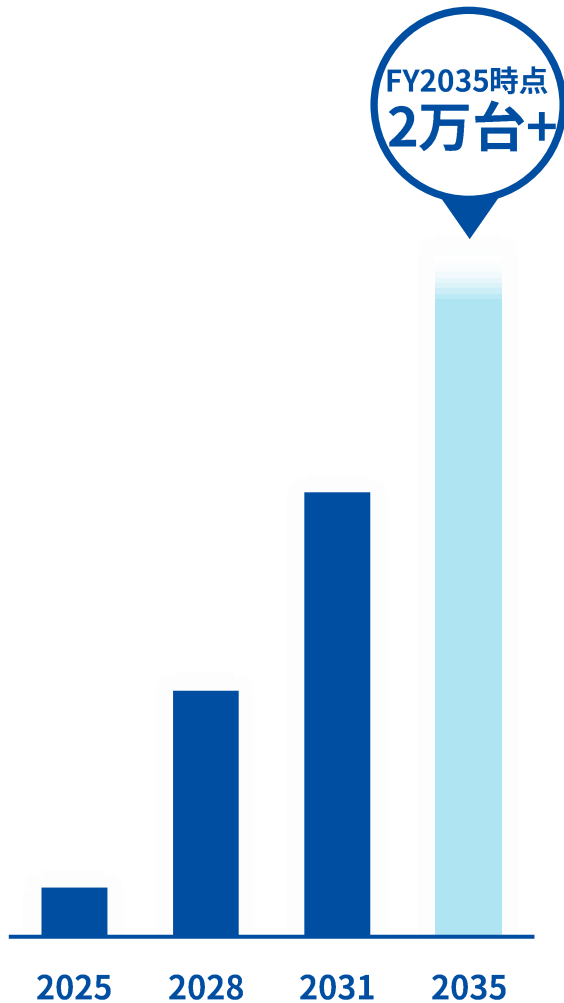


注：パイチャートの大きさは売上収益規模のイメージを表す

第1世代エンジン：V2500/GE90/CF34
第2世代エンジン：GENx/PW1100G-JM/Passport20/GE9X

新製エンジン / スペアパーツ増産に向け、生産設備 / サプライチェーンへ投資

FY2025以降
エンジン累積出荷台数



FY2035時点
2万台+

さらなる増産に向けた生産基盤強化

- ✓ 老朽化設備の更新
- ✓ 自動化 / DX を推進、生産性を **2倍** に向上
(ロボット・FA設備・AI)
- ✓ 重要部材の安定供給
(鋳鍛造材)

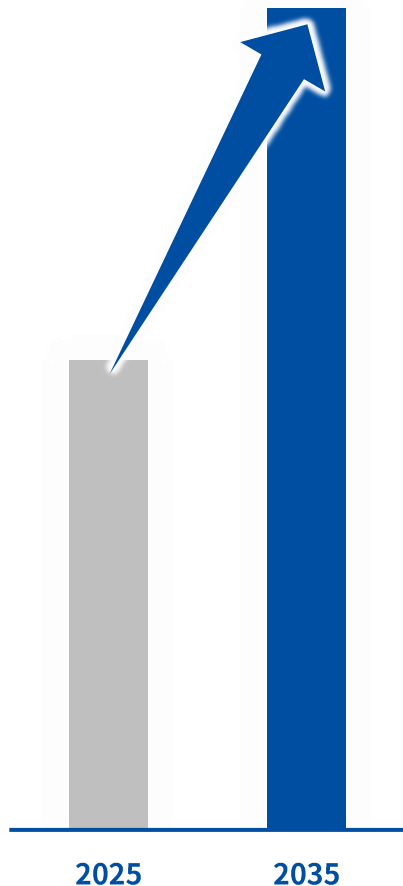
次期単通路機に向けた材料技術の強化

- ✓ 炭素繊維複合材
- ✓ セラミックス基複合材

フェーズ2以降の大幅な
売上・利益拡大を支える基盤を整備

整備キャパシティ / 部品修理能力増強に向け、積極的な設備投資を実施

当社参画エンジン
Shop Visit 台数推移



拡大する整備需要の取り込み

- ✓ 鶴ヶ島工場整備棟拡張
- ✓ トレーニング棟新設 (人財育成拠点)
- ✓ エンジン試運転場整備

整備能力を
4倍へ増強

収益性向上に寄与する部品修理の拡大

- ✓ 鶴ヶ島工場修理棟の新設
- ✓ 米国修理拠点の新設
- ✓ 部品修理技術の開発

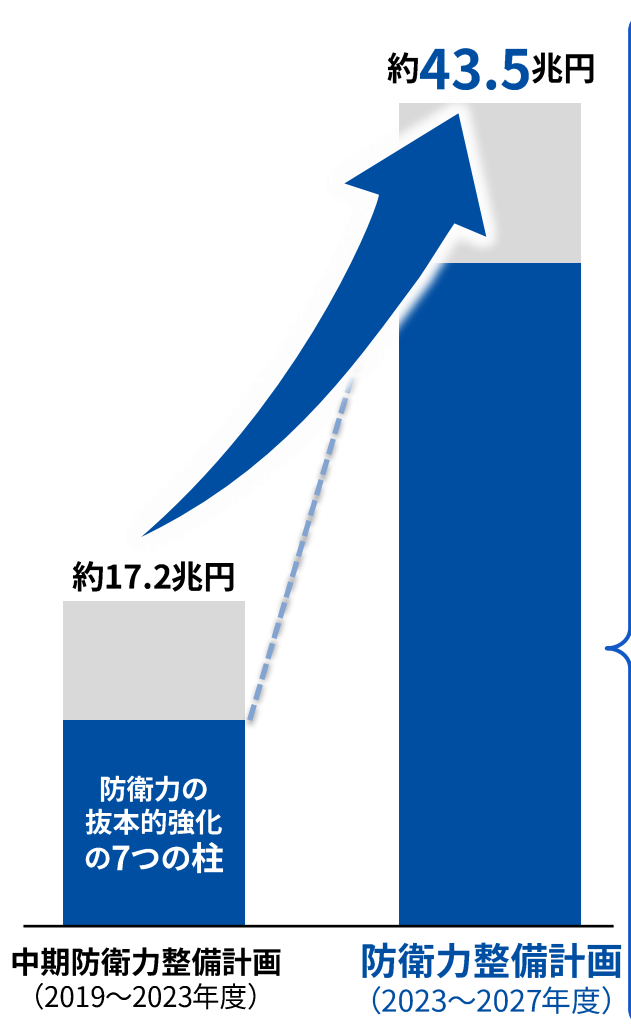
部品修理能力を
5倍へ増強

フェーズ2以降の収益性向上と
利益拡大を支える基盤を整備

「防衛力の抜本的強化」の7つの重視分野全てに製品 / サービスを提供

新たに必要となる事業に係る契約額^{※1}

当社製品の例



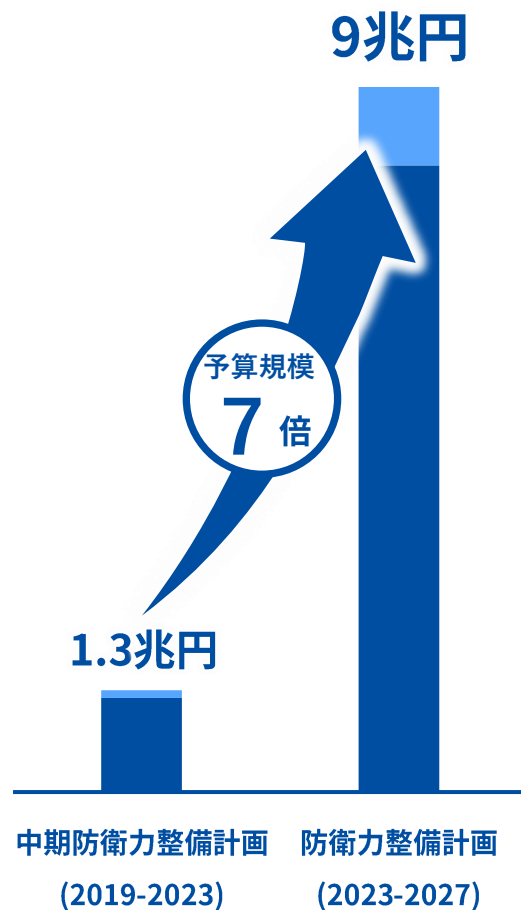
スタンド・オフ防衛能力	約0.2兆円	▶▶	約5兆円
統合防空ミサイル防衛能力	約1兆円	▶▶	約3兆円
無人アセット防衛能力	約0.1兆円	▶▶	約1兆円
領域横断作戦能力	約3兆円	▶▶	約8兆円
機動展開能力・国民保護	約0.3兆円	▶▶	約2兆円
指揮統制・情報関連機能	約0.3兆円	▶▶	約1兆円
持続性・強靱性	約6兆円 ^{※2}	▶▶	約15兆円 ^{※3}



ミサイル / 無人アセット防衛能力の強化に対し、さらなる貢献を目指す

関連事業費

- スタンド・オフ/統合防空ミサイル防衛能力
- 無人アセット防衛能力



固体ロケットモータ[※]事業

※ミサイルの推進装置

大幅な増産 / 日米共同開発含む新案件に対応

- ✓ 政府支援の下で専用建屋を新設
- ✓ 専門人財・サプライチェーンの増強

UUV事業

事業拡大に向けた基盤整備

- ✓ 生産拠点拡充
- ✓ 新機種開発能力向上

デュアルユース / 海外展開による収益拡大

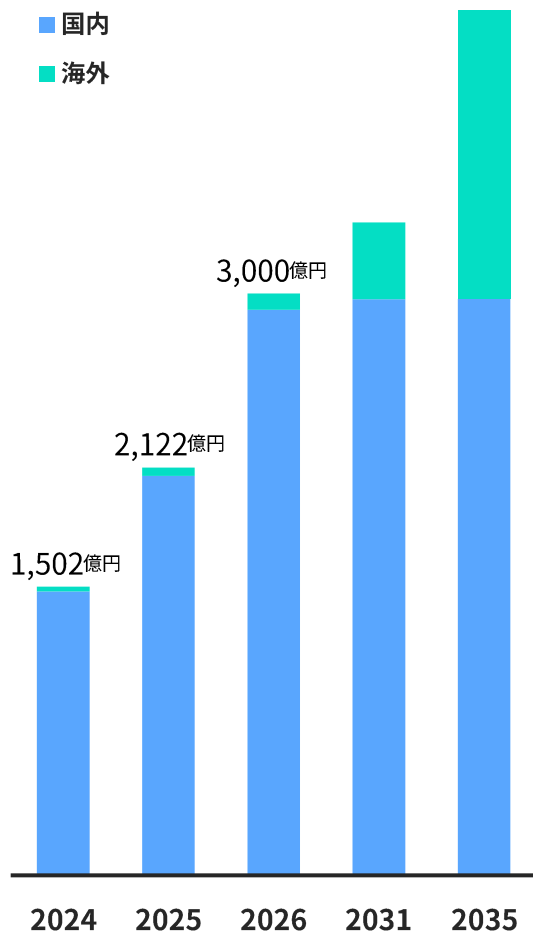
- ✓ 海中インフラ保全等の民生用途に活用
- ✓ 高度な監視機能を強みに海外へ展開

政府と連携しながら、装備移転拡大とGCAP[※]の開発計画達成に貢献していく

※グローバル戦闘航空プログラム（次期戦闘機）

国内・海外別 防衛事業 売上収益

売上収益見通し前提：防衛費GDP比 2%水準



グローバル整備[※] / 部品移転事業[※]

※F-35戦闘機エンジン整備事業

※F-15 / F-16戦闘機エンジン部品の移転事業

旺盛な需要を取り込み、事業規模を拡大

- ✓ 政府と連携した他国との協力関係構築
- ✓ サプライチェーン含む、生産能力の増強

GCAP 事業

2035年の運用開始に向け、開発は着実に進捗

- ✓ 推力15トⁿ以上の戦闘機用エンジンを開発 (2018年)
- ✓ 高度な技術力を背景にGCAPに参画 (2022年)
- ✓ Edgewing社[※]と初のエンジン開発契約を締結 (2026年4月)

※機体開発を担う合併企業

フェーズ2以降の
収益性向上と利益拡大を支える

IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。